

令和 8 年 度 着 手

安養寺(狐谷溜)地区 農業用排水施設事業 計画概要書
【ため池等整備事業（防災重点緊急整備型）】

事業主体 福 井 県

第1章 目 的

本ため池（狐谷溜）は昭和の年代（築造時期不明）に造成された農業用ため池であり、約15.2haの農地をかんがいている。令和2年10月に施行された防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法に基づく防災重点農業用ため池に指定されており、平成24年度に実施した地震・豪雨耐性評価の調査により、基準値を下回る結果となっている。

本事業により老朽化したため池の改修を実施し、ため池の維持管理の軽減や用水の安定供給、また防災工事を早急に実施し、地元住民の安全と安定的な農業経営を図り、早急かつ計画的に事業を推進していく。

第2章 地域の所在及び現況

第1節 地 域

越前市 安養寺町 地係

第2節 地 積

事業名 地目 市町村名	農 業 用 用 排 水 施 設						備 考
	田 (ha)	畑 (ha)	その他 (ha)			計 (ha)	
越 前 市	15.2	—	—			15.2	
計	15.2	—	—			15.2	

第3節 現 況

1. 気 象

観測所名	福井観測所	か ん が い 期	非かんがい期	計または平均 (年 間)
観測期間	H 23 ~ R 2	5月 ~ 9月	10月 ~ 4月	
平均気温(°C)		23.8	8.9	15.1
平均降水量(mm)		194	207	202
平均降水日数(日)		11	17	15
根雪期間		12月 ~ 3月		日間
無霜期間		4月 ~ 11月		日間
最多風向	S(南)	最大風速		21.8 m/s

2. 地 形 地 質

本地区の地形は標高126.3～175.8m、主傾斜1/100の平坦地で地質は砂質の沖積世非固結水成岩からなる。

3. 水 利 状 況

本地区の用水は渓流水を水源としており、不足分はため池を活用しパイプラインにより受益地まで送水している。

4. 営 農 状 況

本地区の農業経営は地区の担い手農家（認定農業者1名、農事組合法人2組織）を主体に合理的な農業経営が行われており、今後も継続して営農を行っていく予定である。また、本地区は丹南区域の穀倉地帯であり、食糧生産にとって非常に重要な地域である。

5. 地域環境の概略

本地区は、越前市の北西部に位置する山間地で、安養寺集落の農地が広がる地域である。希少な生物としてトノサマガエルが確認されている。

第3章 基本計画

第1節 計画の要旨

1. 要旨

本ため池（狐谷溜）は、地震時における堤体の安定性に欠けていることや、現況の洪水吐の洪水時における排水能力（1/200年確率雨量）が不足していることにより、今後地震や豪雨の際に堤体の崩壊を招く恐れが極めて高い状態である。よって本事業によりため池の堤体、洪水吐、取水施設を改修し、農地・農業用施設だけでなく、人家、公共施設等への被害を未然に防止する必要がある。

2. 事業別面積

土地利用区分 工区	農業用排水施設					計 (ha)	備考
	旧田 (ha)	新規田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	その他		
用水改良	—	—	15.2	—	—	15.2	
計	—	—	15.2	—	—	15.2	

第2節 営農計画

本地区では、水稻、大麦、ソバを作付けしている状況であり、今後も現況作付作物を継続して行っていく予定である。

第3節 環境との調和への配慮

施工の際は、建設機械は排出ガス対策型建設機械、低騒音低振動型建設機械の使用に努め、大気環境の汚染及び騒音・振動を防止する他、ドライ施工を心がけ、濁水の発生軽減に努める。また、施工による建設廃材の発生を可能な限り抑制又は、リサイクルする他、野生生物への配慮として、保全対象生物であるトノサマガエル等の配慮対策について検討するとともに、地区内の発生土は再利用し、多様な緑地の保全に努める。

第4節 計画基本事項

1. 農業用排水施設事業

ア) 用水計画

- ・確 率 1 / 10
- ・連続干天日数 32日 (1994年)
(福井地方気象台福井観測所1994年～2023年 [30年間])

第4章 工事又は管理の要領

第1節 工事の内容

1. 農業用排水施設事業

ア) 用水計画

- ・ため池工 1.0式

第2節 予定工期

令和 8 年 ～ 令和 11 年

第3節 管理の要領

本事業により設置された農業用施設は、白山安養寺土地改良区が管理する。

第5章 換地計画の要領
 第1節 換地計画樹立の必要性

該 当 事 項 な し

第2節 換地計画樹立の基本方針
 1. 従前の土地の地積の基準

換地区	地 積 の 基 準
	該 当 事 項 な し

2. 農用地集団化の方法

換地区	区 分 地 帯 別 グ ル ー プ 別 団 地 の 設 定	個 人 別 換 地 の 方 法		
		位 置 選 択	1 戸 当 たり 目 標 団 地 数	区 画 畦 畔 の 取 り 扱 い
		該 当 事 項 な し		

3. 非農用地の換地方針

該 当 事 項 な し

4. 清算の方法

該 当 事 項 な し

第3節 土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入に係る地積

単位:ha

用途	区分	機能交換に係る土地				一般 国有地	合計
		国有地	県有地	市町村有地	計		
			該 当 事 項 な し				
	計						

第4節 換地処分の時期に関する特則

該 当 事 項 な し

第6章 費用の概算

令和7年度価格

区分	事業費 (千円)	事務費 (千円)	総事業費 (千円)	備考
全区	145,000	—	145,000	
計	145,000	—	145,000	

第7章 効用

令和7年度価格

区分	年総効果 (便益)額 (千円)	年増加額 農業所得額 (千円)	備考
食料の安定供給の確保 に関する効果	8,642	—	総費用総便益比： 1.53 総所得償還率： — % 増加所得償還率： — %
作物生産効果	9,409	—	
営農経費節減効果	△ 767	—	
維持管理費節減効果	—	—	
農村の持続的発展 に関する効果	6,373	—	災害防止効果(農業)
災害防止効果(農業)	6,373	—	
農村の振興 に関する効果	6,612	—	災害防止効果(一般)
災害防止効果(一般)	6,612	—	
多面的機能の発揮 に関する効果	1,412	—	災害防止効果(公共)
災害防止効果(公共)	1,394	—	
景観・環境保全効果	18	—	
その他効果	1,770	—	国産農産物 安定供給効果
国産農産物 安定供給効果	1,770	—	
計	24,809		

第8章 他の事業との関連

該 当 事 業 な し

第9章 計画概要図

別 添 図 面 参 照

事業の負担区分の予定及び地元負担の予定基準

1 事業費の負担区分の予定

令和 7 年度価格

1) 総事業費

・農業用排水 145,000 千円也 [事業費 145,000 千円也]
 [事務費 - 千円也]

2) 負担区分

【農業用排水施設事業】

令和 7 年度価格 (千円)

区 分		補 助 率	金 額	計	
国 庫 補 助	事 業 費	55.00 %	79,750	79,750	
	事 務 費	- %	-		
県 費	事 業 費	35.00 %	50,750	50,750	
	事 務 費	- %	-		
分 担 金	越 前 市	事 業 費	14,500	14,500	
		事 務 費	-		
	地 元	事 業 費	- %	-	-
		事 務 費	- %	-	
計		事 業 費	145,000	145,000	
		事 務 費	-		

2 地元負担の予定基準

該 当 事 項 な し

3 負担団体

越 前 市

1 管 理 者

白山安養寺土地改良区

2 管理すべき施設の種類の種類

種 類	名 称	位 置	施 設 の 規 模	備 考
ため池	狐谷溜	越前市安養寺町地係	堤長100m×堤高6.1m V=3,448m ³	

3 貯水、放流、取水又は排水に関する基本的事項

当該施設は農繁期におけるかんがい用水貯水を目的とする。但し、地震、豪雨等により堤体の弱体化が想定される際には、緊急放流を行うものとする。

4 管理に要する費用の概算

(1) 費用の概要

令和 7 年度価格

種 類	年 間 維持管理費	耐用 年数	耐用年数間の 合 計	10 a 当 り 年 負 担 額	備 考
た め 池	213 千円	80	17,040 千円	1,402 円	A = 15.2 ha

(2) 負担の方法

該当事項なし

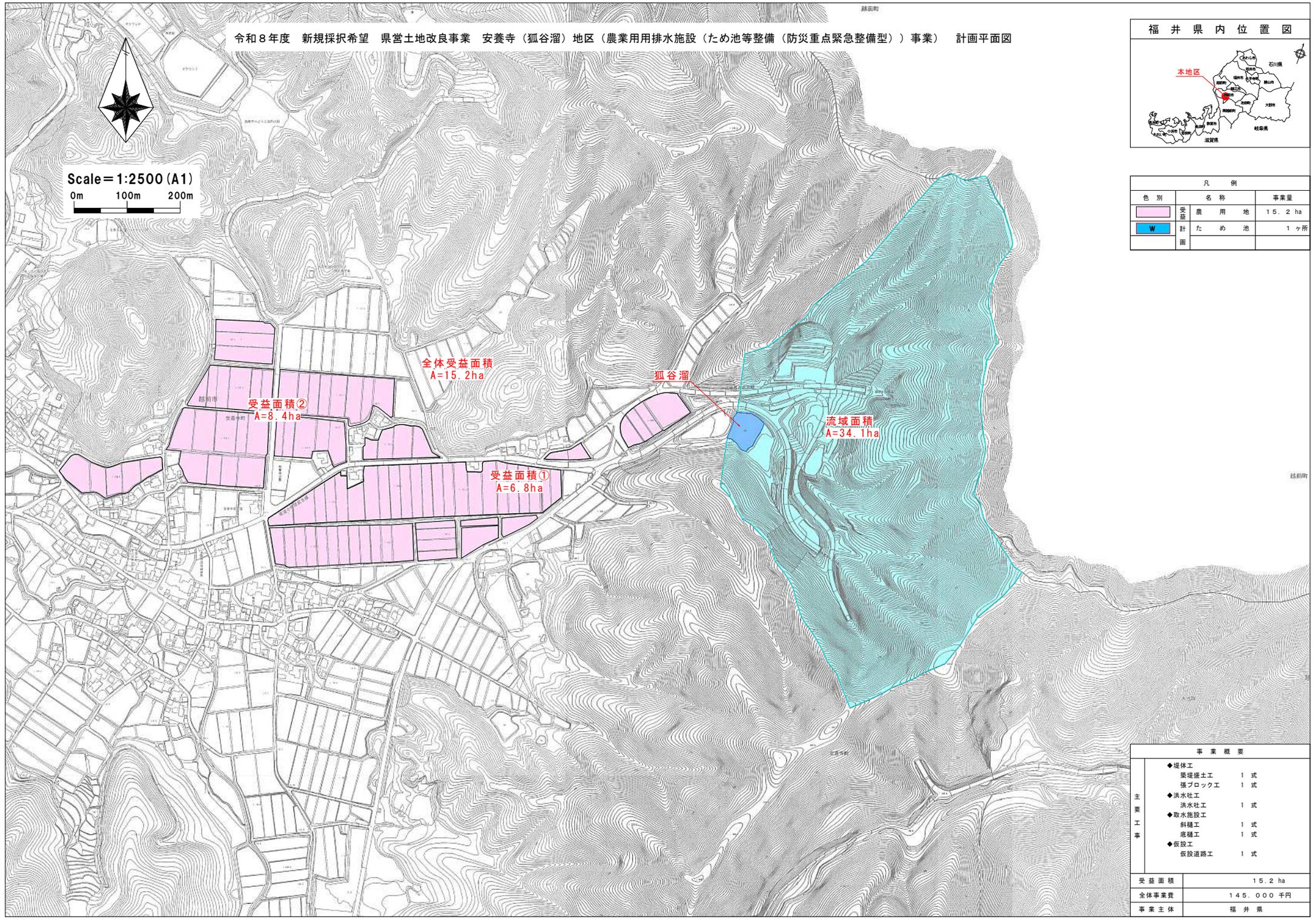
5 その他管理方法に関する基本的事項

施設の管理は白山安養寺土地改良区が定める管理規定に基づいて行う。

令和8年度 新規採択希望 県営土地改良事業 安養寺（狐谷溜）地区（農業用排水施設（ため池等整備（防災重点緊急整備型））事業） 計画平面図



Scale = 1:2500 (A1)
0m 100m 200m



全体受益面積
A=15.2ha

受益面積②
A=8.4ha

受益面積①
A=6.8ha

狐谷溜

流域面積
A=34.1ha

福井県内位置図



凡 例		
色 別	名 称	事 業 量
■	受益農用地	15.2 ha
■	計ため池	1ヶ所
■	面	

事業概要	
主要事業	◆堤体工
	築堤盛土工 1 式
	張ブロック工 1 式
	◆洪水吐工
	洪水吐工 1 式
	◆取水施設工
	斜樋工 1 式
	底樋工 1 式
	◆仮設工
	仮設道路工 1 式
受益面積	15.2 ha
全体事業費	145,000 千円
事業主体	福井県

一 定 地 域 調 書
(県 営 土 地 改 良 事 業)

安養寺 (狐谷溜) 地区

一 定 地 域 調 書

【農業用排水施設事業】

安養寺（狐谷溜）地区

市 町 村	大 字	字	地 域								
越 前 市	安 養 寺 町	18	10-1	11-1	11-2	15-1	16-2	17-2	18-2	19-2	20-2
			21-2								
		27	2	3-1	4-1	5	6	7-2			
		29	1-1	2	3-5	4-5	5				
		28	13	14-1	15-1	16-1	16-2	17	19-1	20	21-1
			22-1								
		34	5-1	6-1	7-1	8	9-1	9-2	9-3	10-2	11
			12-1	12-2							
		37	27-1	27-2	28-2	29-1	29-2	30-2	31-2		
		89	1	3-2	4-2	5	6-1	7-1	8	9	10-1
			10-2	10-3							
		93	1-1	1-2	1-3	2-2	3	4	5-2	6	7-2
			8	9	10-2	11	12-2	13-2			
		96	1-1	1-2	2	3	4	5	6	7	8
			9-1	10-5	11-2	12	13	14	15	16-1	17-2
			18-2	18-3	19-2	20-2	21-4	22			
		97	1	2-2	3-2	4-2	5-1	6-1	7	8-2	